

昨日の欧米株式市場の下落、および為替変動について

昨日(10月6日)の世界株式市場は大幅下落となりました。

米国株式市場は、主要株価指数の NY ダウ工業株 30 種平均指数が前日比 369.88 ドル安(3.58%) となり、約 4 年ぶりに 1 万ドルを割り込みました。S&P500 種指数は前日比 42.34 ポイント安(3.85%)、ナスダック総合指数は前日比 84.43 ポイント安(4.33%) となりました。

欧州株式市場は、ロンドン FTSE100 種総合指数は前日比 391.06 ポイント安(7.85%)、ドイツ株式指数(DAX)は前日比 410.02 ポイント安(7.07%) となりました。

外国為替市場は円が主要通貨に対して上昇しました。ニューヨーク市場において円/米ドル・レートは 1 ドル = 101.82 円(前日比 3.50 円)まで上昇し、一時は 1 ドル = 100 円台となる場面もありました。円/ユーロ・レートは 1 ユーロ = 137.48 円(前日比 7.59 円)となりました。円は豪ドル、ニュージーランドドルに対しても上昇しました。

		10月6日終値	前日比	変化率
米国株式市場	NYダウ	9,955.50ドル	369.88ドル	3.58%
	S&P500	1,056.89ポイント	42.34ポイント	3.85%
	ナスダック	1,862.96ポイント	84.43ポイント	4.33%
欧州株式市場	英FTSE100	4,589.19ポイント	391.06ポイント	7.85%
	独DAX	5387.01ポイント	410.02ポイント	7.07%

		10月6日NY終値	前日比	変化率
為替	円/米ドル	101.82円	3.50円	3.32%
	円/ユーロ	137.48円	7.59円	5.23%
	円/豪ドル	73.57円	7.91円	9.71%
	円/NZドル	64.76円	5.00円	7.17%

(出所) Bloomberg より野村アセットマネジメント作成

< 背景 >

9 月 15 日に米証券大手リーマン・ブラザーズが破綻して以降、欧米金融機関の経営危機が相次いで表面化し、金融危機は深刻度を増しています。10 月 3 日、米議会は公的資金による不良債権買い取りを中心とした金融安定化修正法を成立させましたが、同法案の内容は金融機関のバランスシートの更なる悪化を防ぐ意味はあるものの、毀損した自己資本をすぐに回復させる効果は薄く、金融市場の安定化のために十分ではないとの声があります。

10 月 4 日には欧州 4 カ国(英・独・仏・伊)の首脳が緊急会合を開きましたが、地域全体として有効な対策を打ち出すことはできませんでした。

また金融不安が実体経済に与える影響が懸念されています。米国雇用統計の大幅悪化をはじめ世界的な景気後退懸念が強まっています。

当資料は、世界株式市場に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や為替市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【ご参考資料】

投資家の間では株式や商品、高金利通貨などリスクが高い資産から逃避する動きが広がっているようです。特にヘッジ・ファンドなどの投資家が大量解約や金融機関からの融資の削減に迫られ、保有資産を投げ売りせざるを得ない状況に陥っていると見られます。

<今後の行方>

金融機関同士や金融機関から投資家、事業会社、個人などへの信用供与が収縮していることに対し、米連邦準備制度理事会（FRB）など各国中央銀行は市場への資金供給を増やしていますが、今のところ十分な効果が現れていません。

FRBは銀行がFRBに預ける準備預金に金利を支払うことを決めましたが、これは余剰資金のある金融機関から資金を吸収し、資金不足に陥っている金融機関に供給することで金融の逼迫を緩和することを狙ったものと考えられます。金融市場が機能不全に陥っている中、中央銀行自らが資金仲介機能を果たそうとしていると言えるでしょう。

これらの措置は中央銀行のバランスシートを大幅に膨張させ、リスクを負わせることになりかねませんが、緊急措置としては止むを得ないかもしれません。中央銀行が思い切った対策をどの程度の規模で行なうかが、当面の金融市場安定化の鍵になると考えられます。

以上